
第6次日野町総合計画にかかる 住民意識調査結果報告（概要）

令和7年3月

日野町企画振興課

調査の実施概要

調査の目的

この調査は、令和3年4月に策定した「第6次日野町総合計画」の計画期間が来年度に5年目を迎えるにあたって、町民の皆様に、現在の生活環境や町の取り組み、将来のまちづくりについてのご意見をお伺いし、計画の見直しを行うための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

調査の対象・方法

◆住民意識調査

- ①調査対象：町内在住の18歳以上の住民 2,500 人（無作為抽出）
- ②調査方法：郵送配布・郵送回収またはオンラインフォームによる回答
- ③調査期間：令和6年8月27日（火）～令和6年9月24日（火）

調査票の回収状況

配布数	回収数	回収率
2,500 件	1,209 件 (うち、198 件 web 回答)	48.36% (web 回答率 16.38%)
	有効回答数	有効回答率
	1,206 件	48.24%

報告書の見方

・回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

・図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

・図表中の「n」は集計対象者総数(回答者限定設問の限定条件に該当者数を含む)または、複数回答可の設問の回答数を示しています。

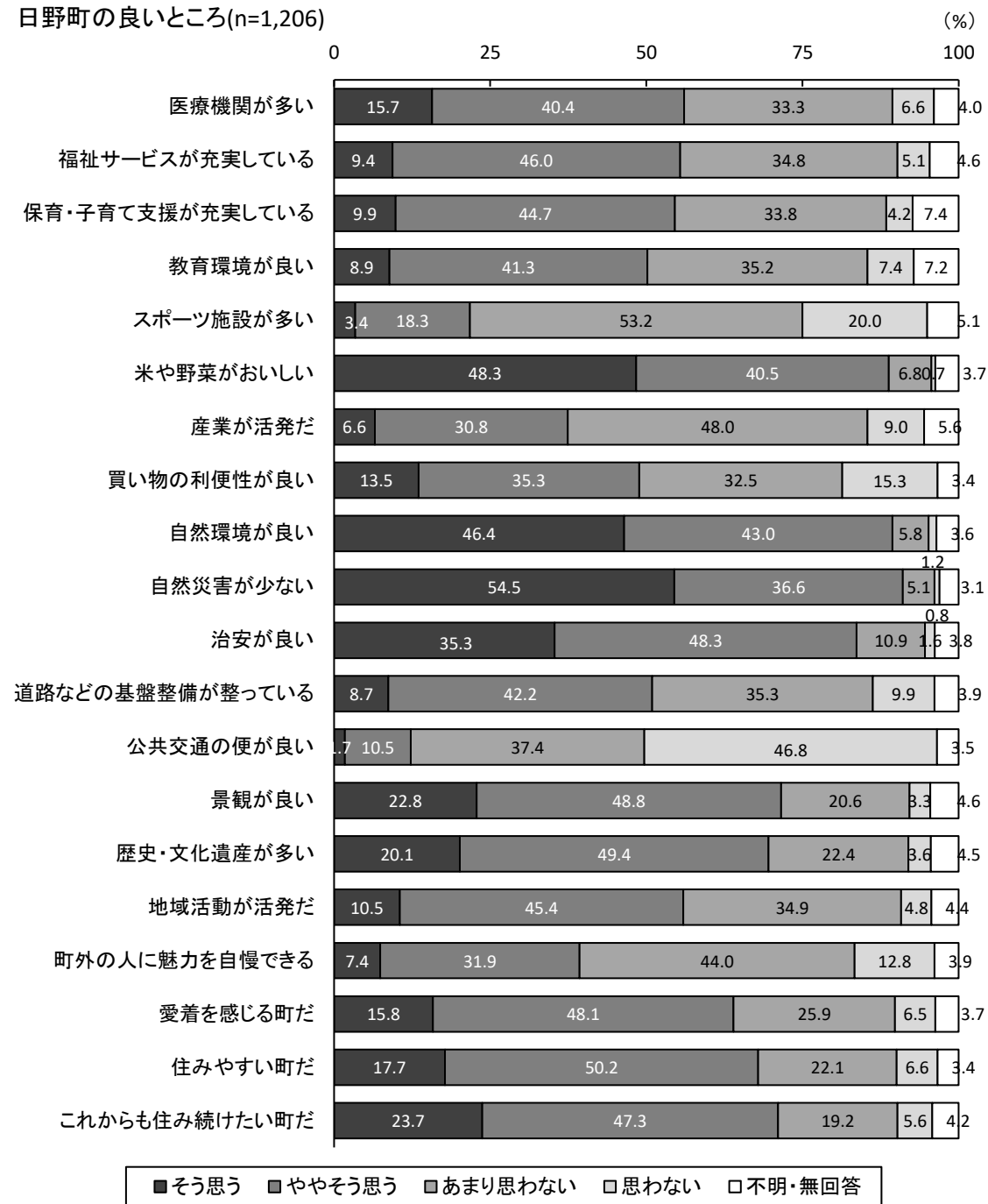
調査の結果概要

日野町の良いところ

住民が考える日野町の良いところとして、自然災害の少なさや米や野菜のおいしさ、自然環境の良さが挙げられています。一方で、交通の便やスポーツ施設に関しては不満も多く、利便性という点では更なる改善が求められています。

問1

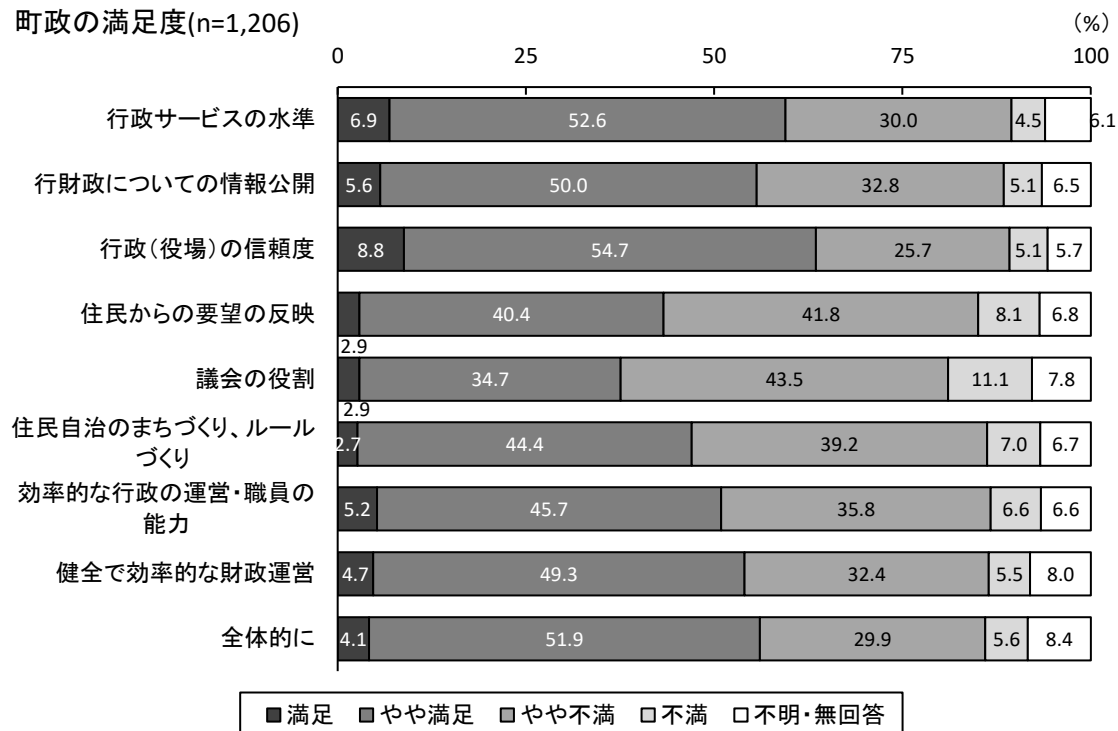
日野町の良いところ(n=1,206)



町政の満足度について

行政（役場）の信頼度や行政サービスの水準について過半数が満足しています。一方で、議会の役割については過半数が不満を持っており、住民からの要望の反映や住民自治のまちづくり、ルールづくりへの満足度も低い傾向です。

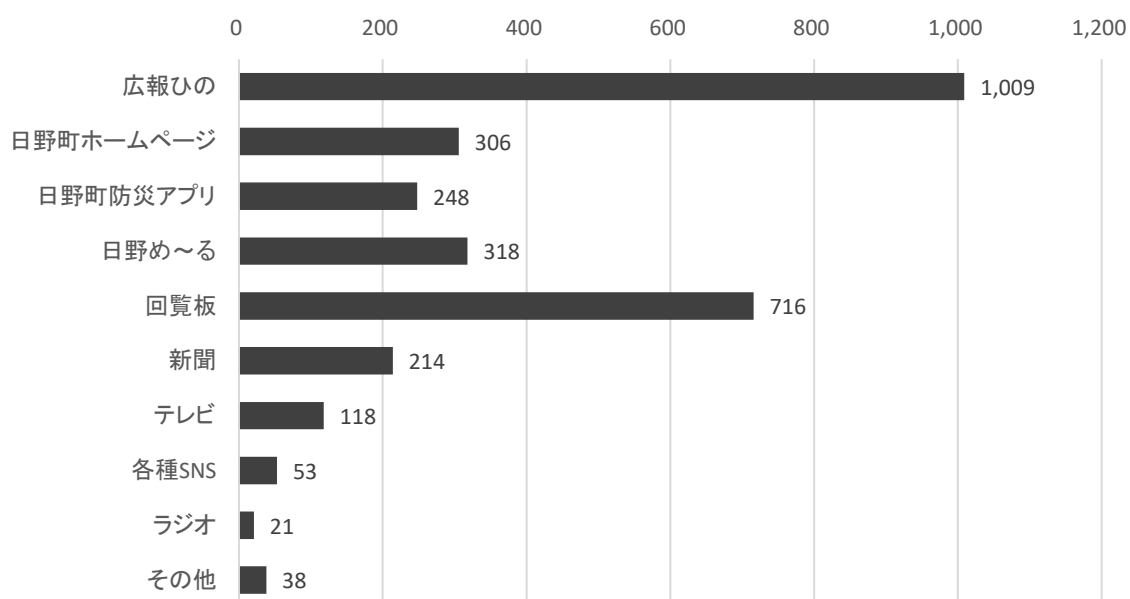
問2 町政の満足度(n=1,206)



町政情報の入手方法について

町政情報について、多くの住民が「広報ひの」や「回覧板」によって入手されています。

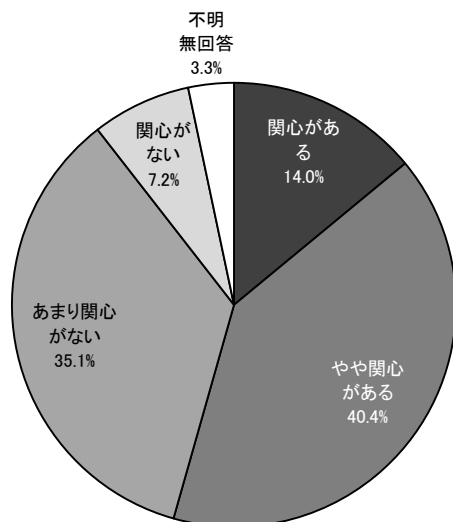
問3 町政情報の入手方法（複数回答可）(n=1,206)



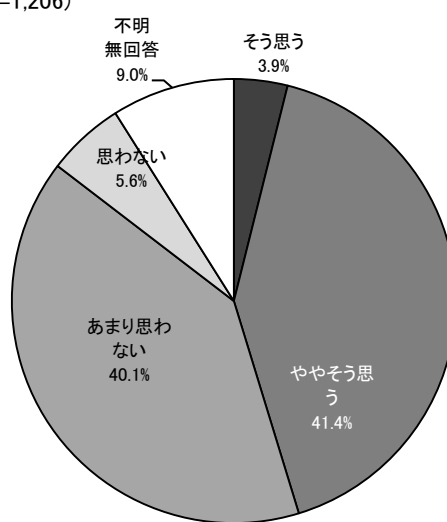
協働のまちづくりについて

住民と行政が協力して取り組む協働のまちづくりについて、過半数が「関心がある」「やや関心がある」と回答している一方、できていると「思わない」「あまり思わない」と回答している割合が多くなっています。

問4 協働のまちづくりへの関心 (n=1,206)



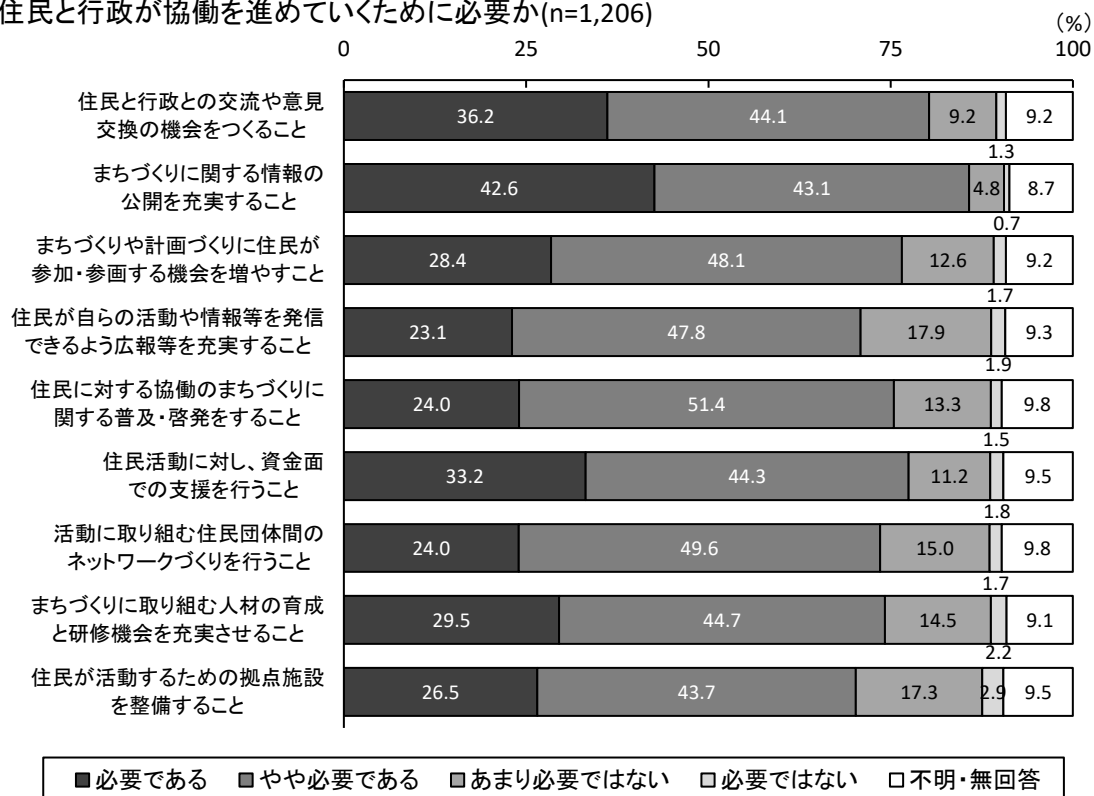
問5 協働ができていると思うか (n=1,206)



協働を進めていくために必要なことについて

今後、協働を進めていくためには、まちづくりに関する情報の公開や、行政との意見交換の場が、住民活動に対し、資金面での支援を行うことが強く求められています。

問6 住民と行政が協働を進めていくために必要か (n=1,206)



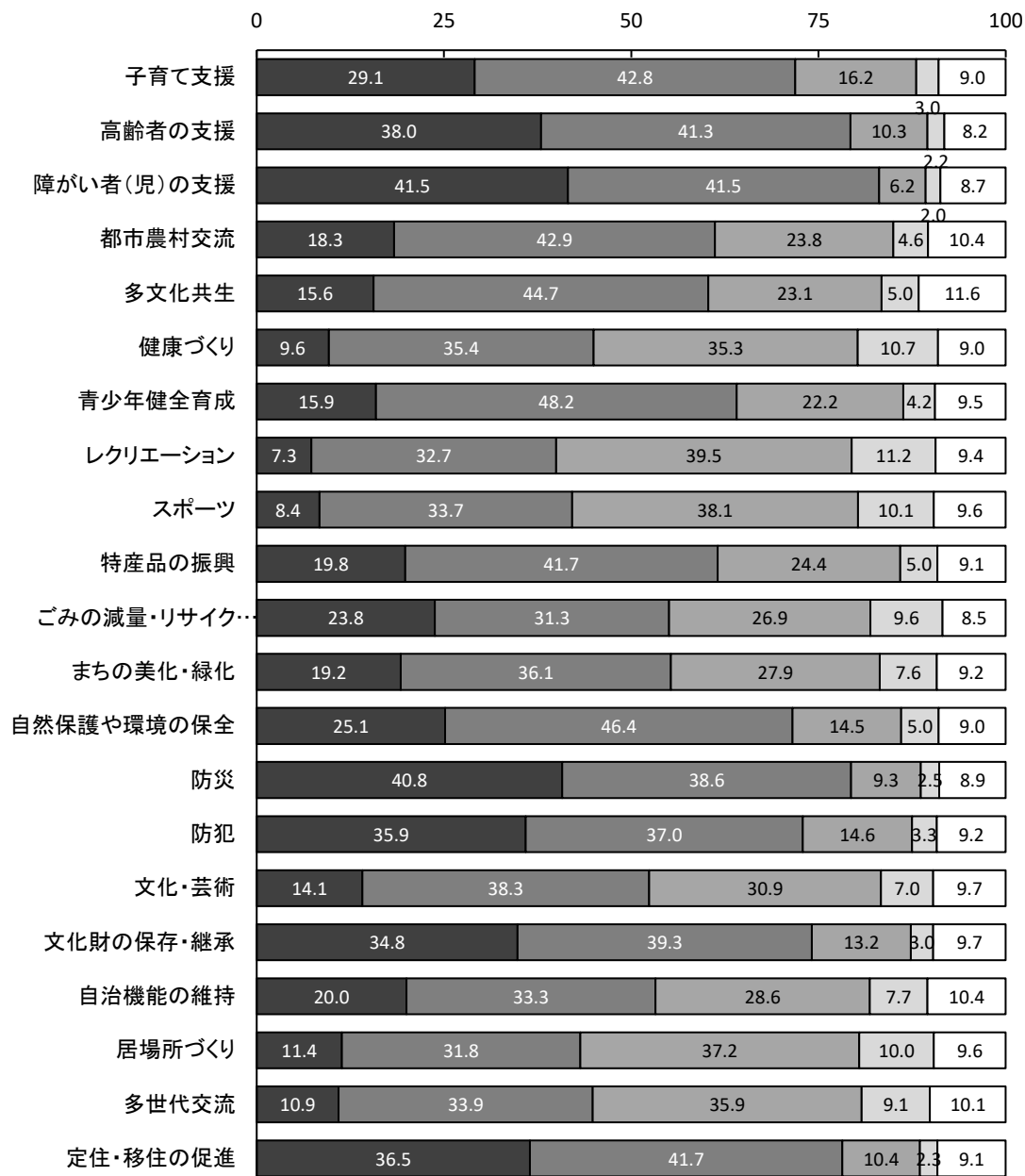
まちづくりの中心となる主体について

レクリエーションやスポーツ、健康づくり等の分野は、住民が主体となって進めていくのが良いと考えられています。

問7

行政・住民どちらが中心となって進めるのが良いか(n=1,206)

(%)



■行政が中心 ■どちらかといえば行政中心 □どちらかといえば住民中心 □住民中心 □不明・無回答

施策について

日野町の施策について、34 項目 5 分野に分け、現在の施策の「定着度」と、将来の施策の「優先度」という観点から分析を行いました。「定着度」とは、各施策が目指しているものについて、現在の日野町に「根付いている」を 3 点、「やや根付いている」を 1 点、「あまり根付いていない」を -1 点、「根付いていない」を -3 点とした場合の平均評点を表しています。「優先度」とは、これからの日野町の施策として優先度が「高い」を 3 点、「やや高い」を 1 点、「普通」を 0 点、「低い」を -3 点とした場合の平均評点を表しています。

各施策は、現在の定着度と将来の優先度に応じて、

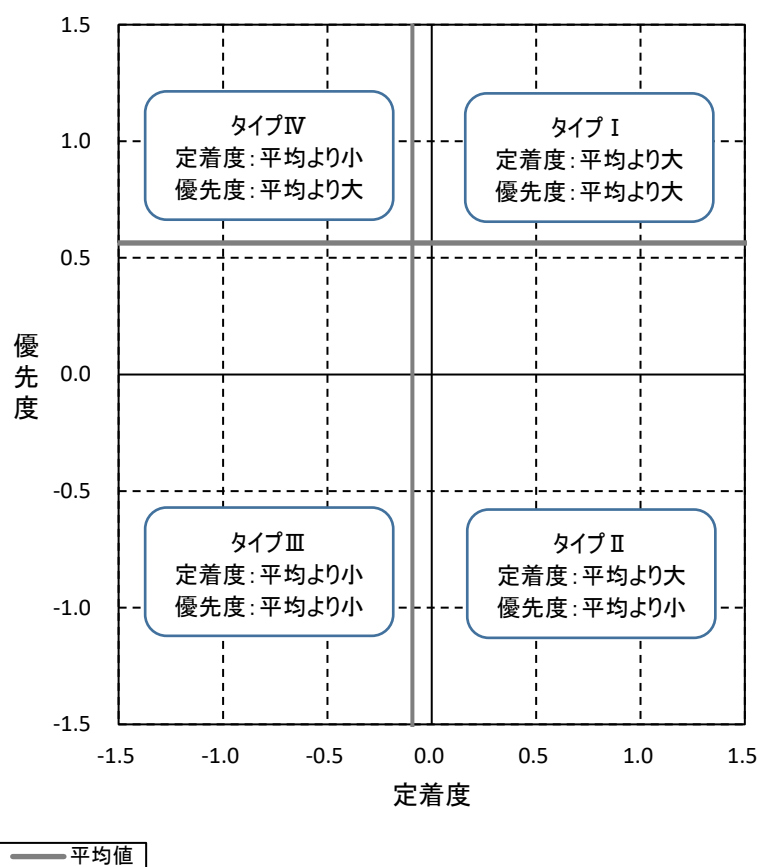
タイプⅠ：現在の定着度は高く、将来の優先度も高い施策

タイプⅡ：現在の定着度は高く、将来の優先度は低い施策

タイプⅢ：現在の定着度は低く、将来の優先度も低い施策

タイプⅣ：現在の定着度は低く、将来の優先度は高い施策

の 4 つに分類しました（定着度と優先度の高い、低い、全施策の平均と比較したもの）。

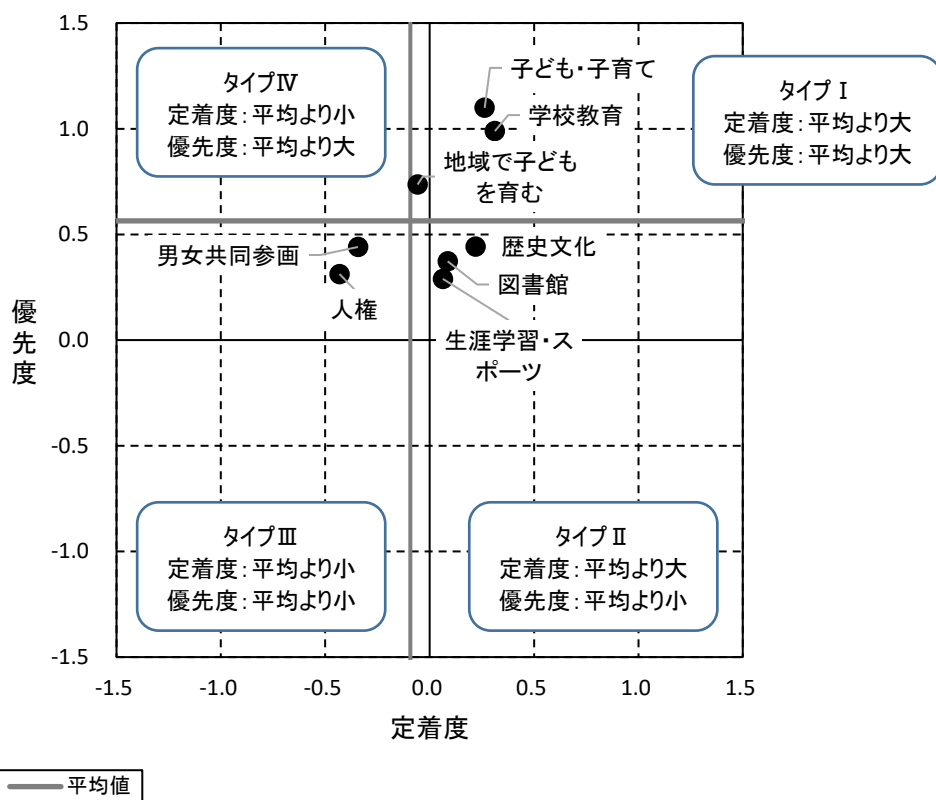


各分野と 4 つのタイプの関係を見ると、以下のような傾向が見られます。

また、日野町の施策について、あなた自身が行政と協働してみたいかについても、以下のとおり 34 項目 5 分野に分けて集計しました。

問8

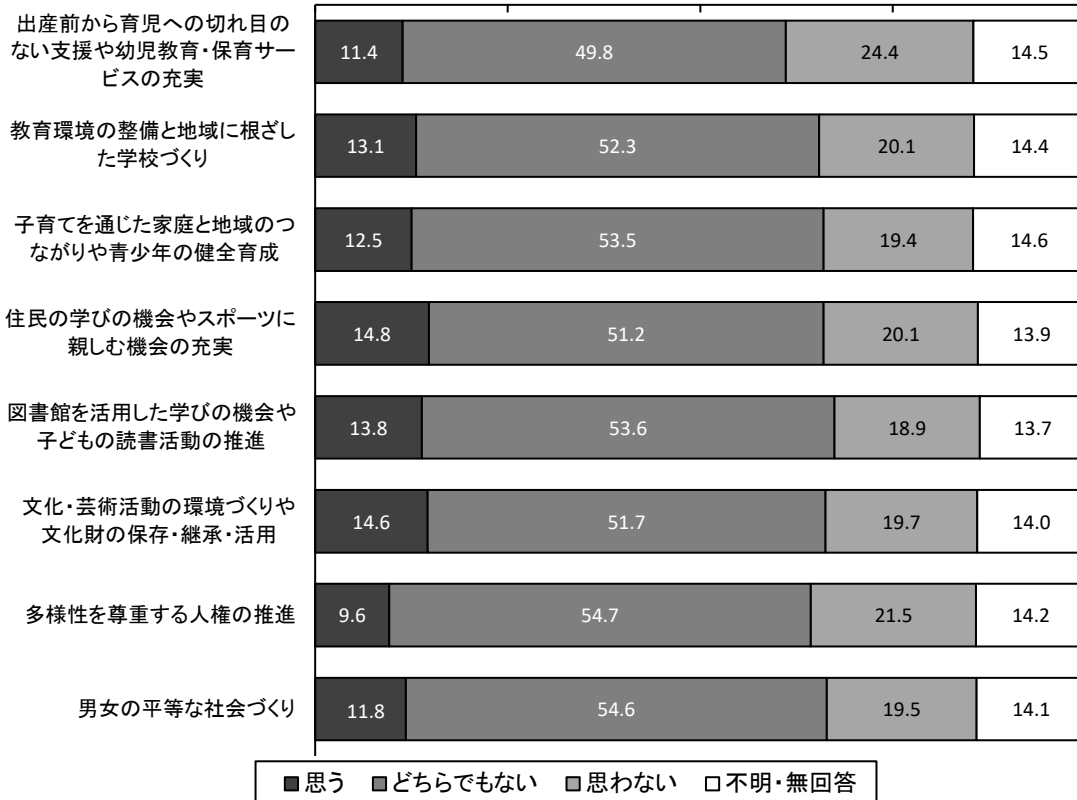
① 未来を担うひとづくりに関すること



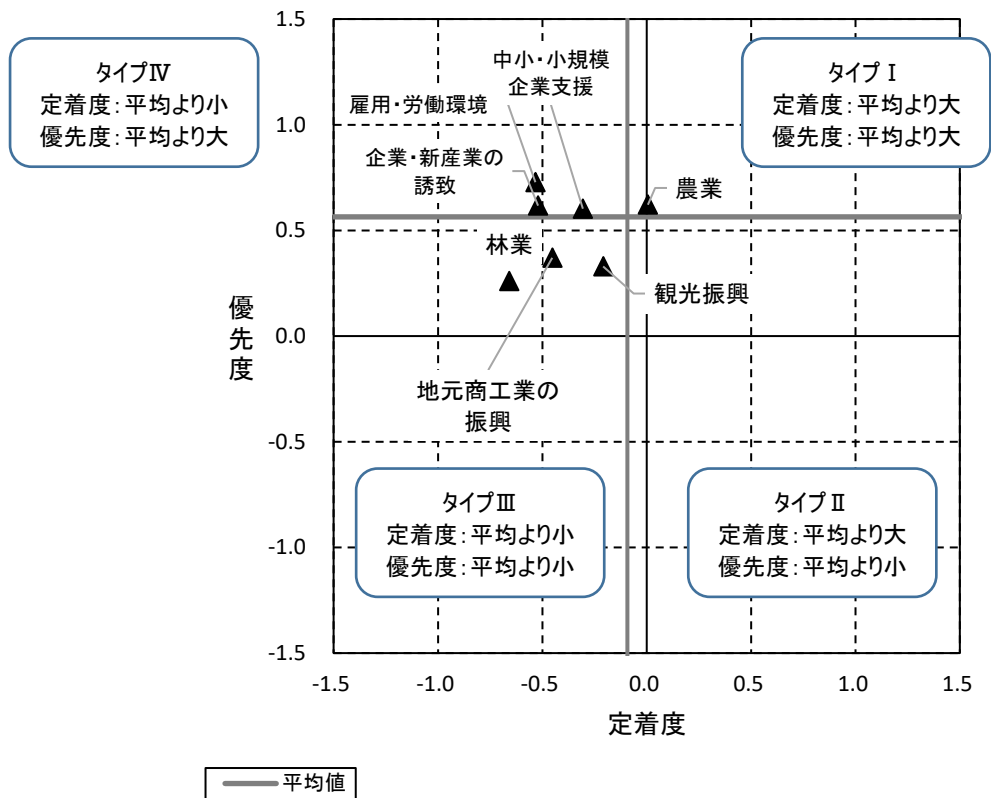
【協働】未来を担うひとづくりに関すること(n=1,206)

(%)

0 25 50 75 100

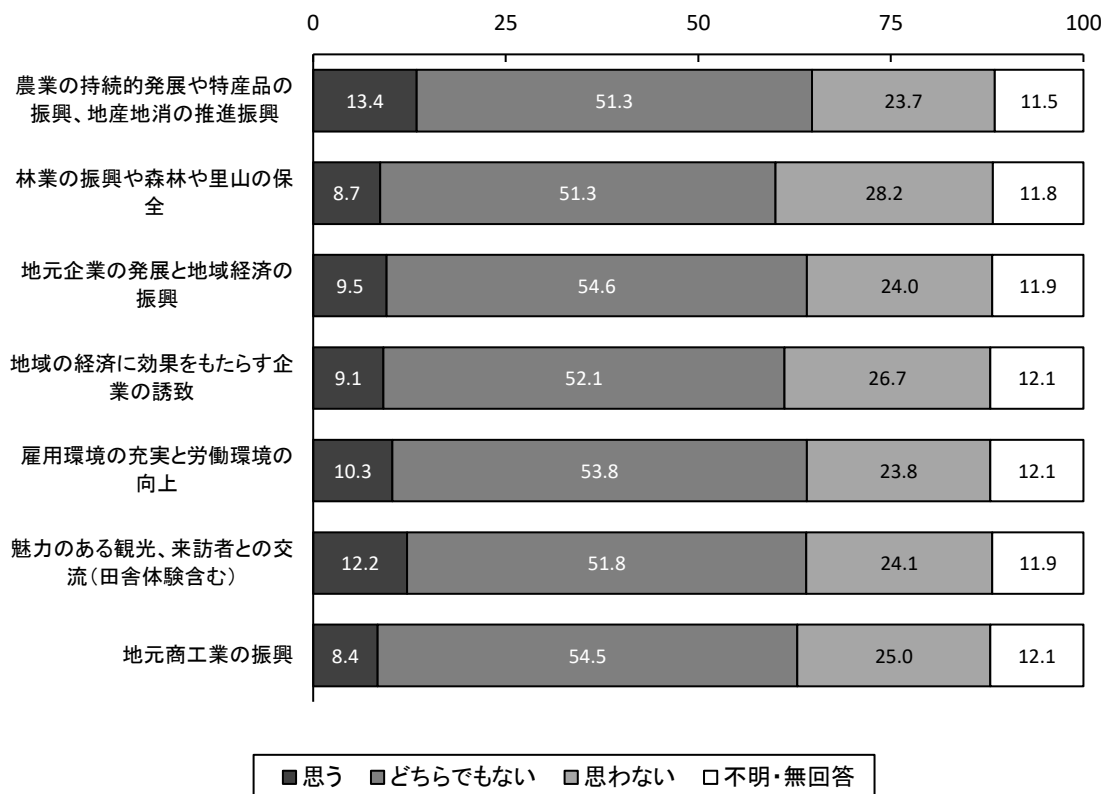


② 暮らしを支えるしごとづくりに関すること

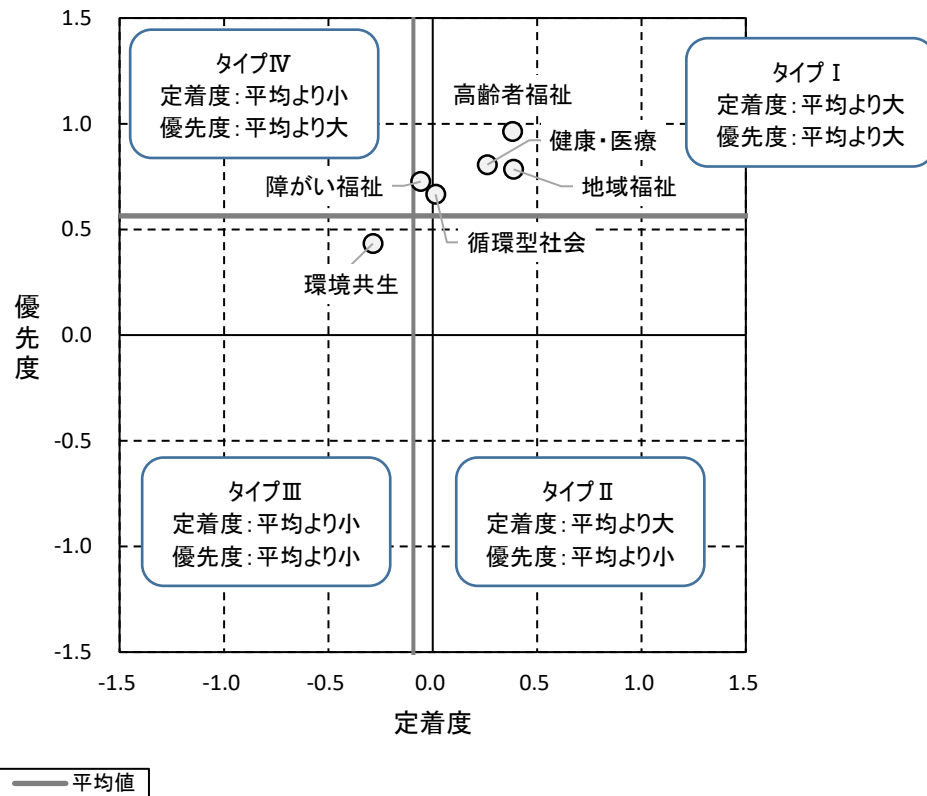


【協働】暮らしを支えるしごとづくりに関すること(n=1,206)

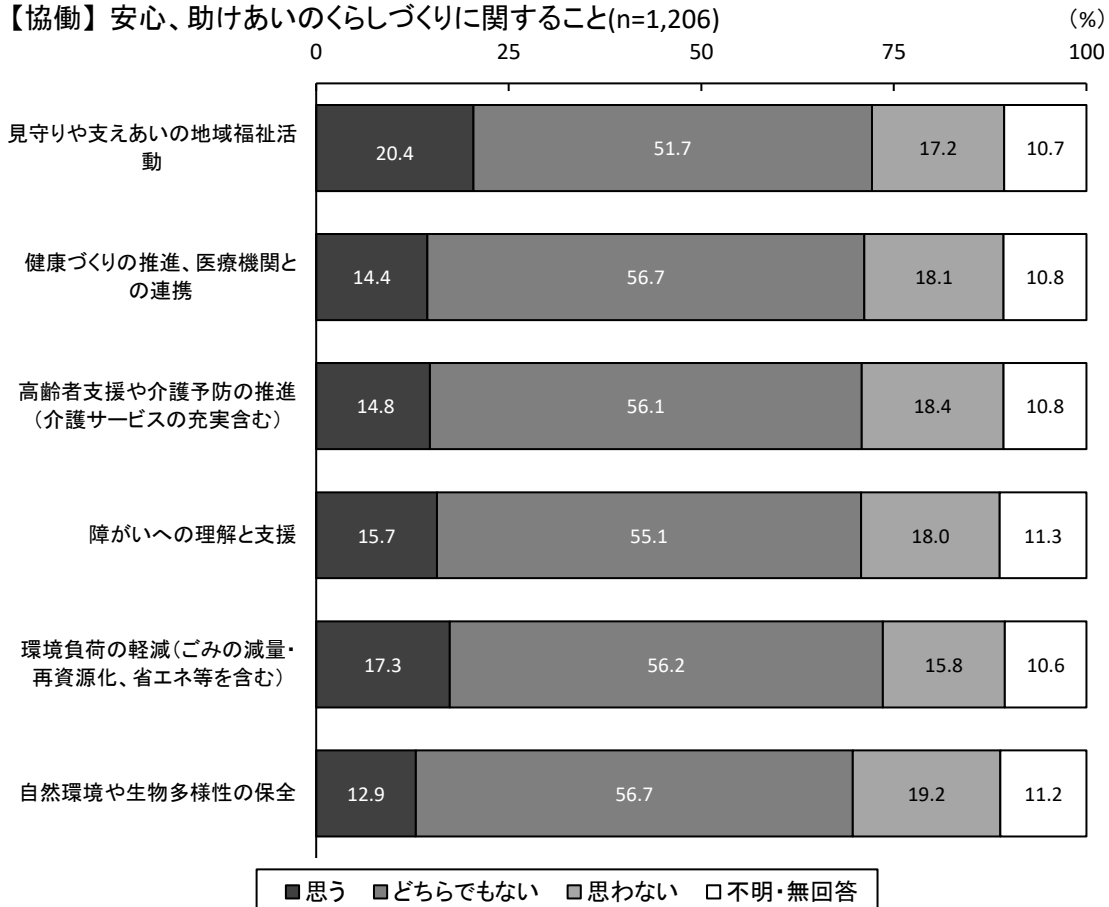
(%)



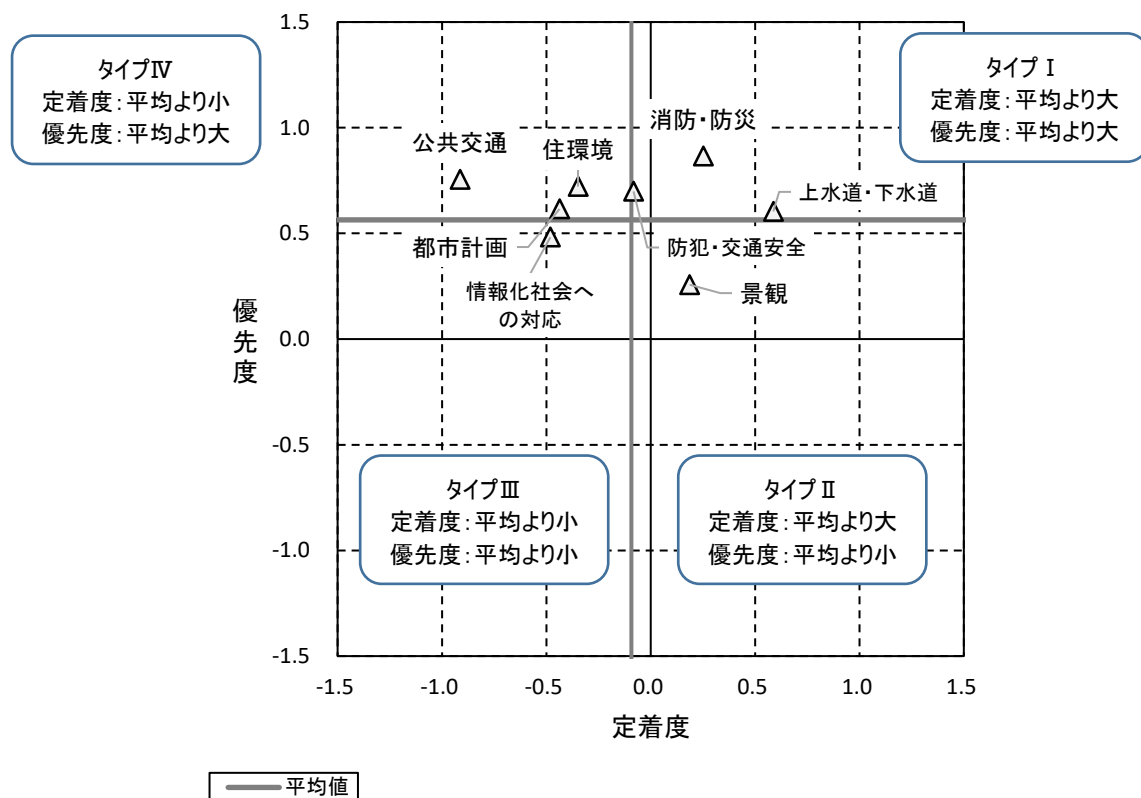
③ 安心、助けあいのくらしづくりに関すること



【協働】安心、助けあいのくらしづくりに関すること(n=1,206)

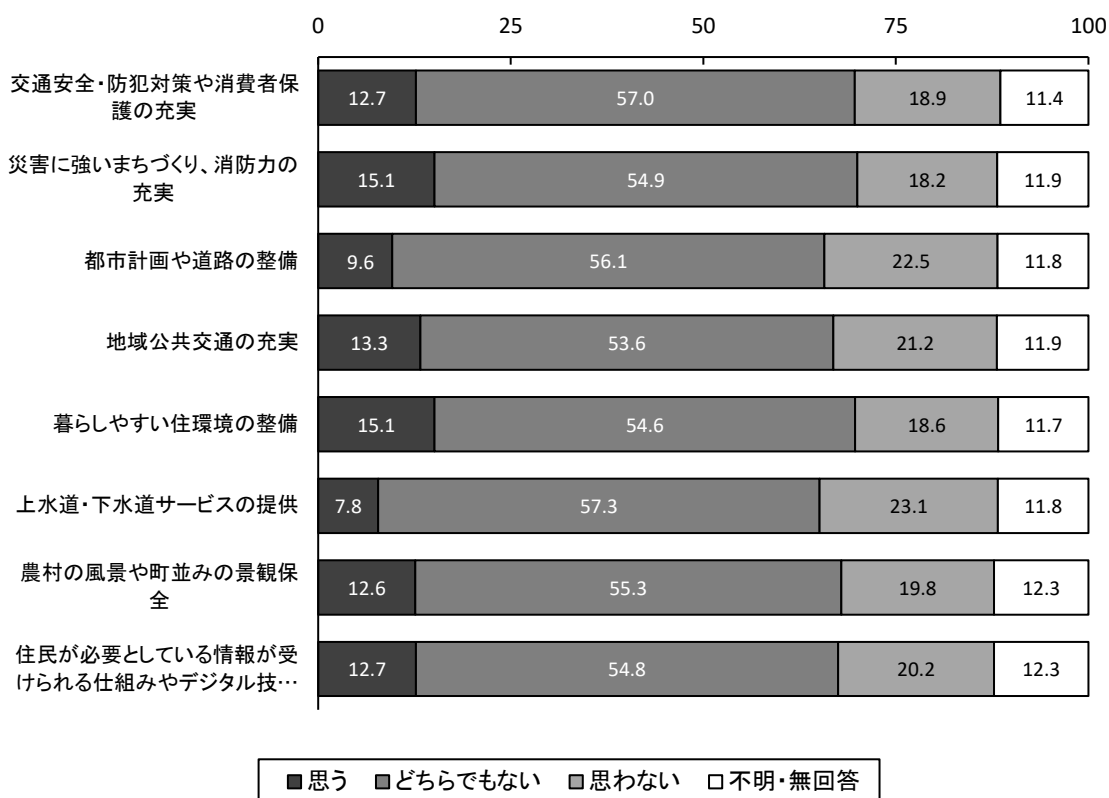


④ 住みたくなる都市基盤づくりに関すること

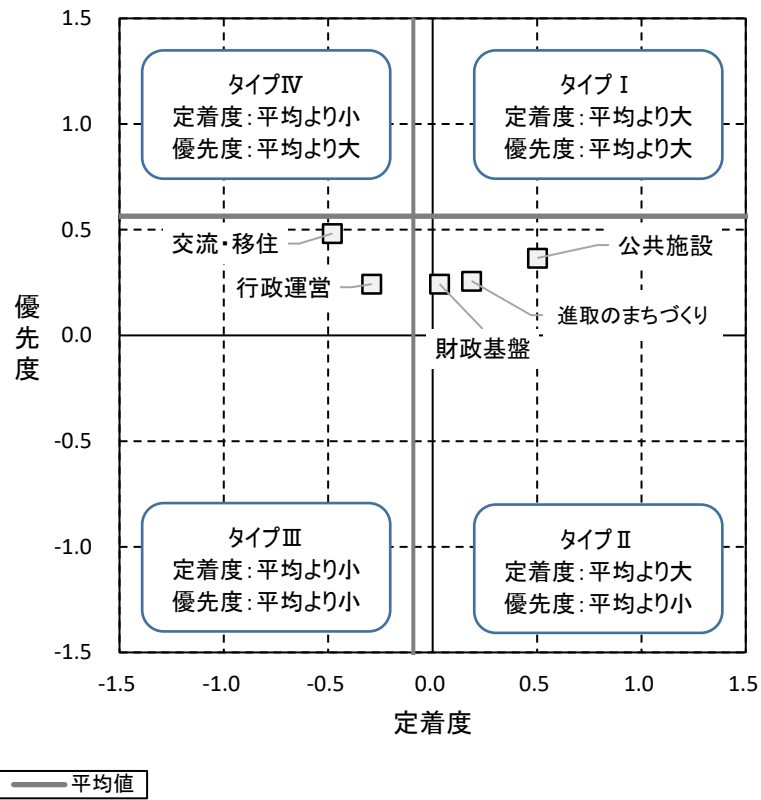


【協働】住みたくなる都市基盤づくりに関すること(n=1,206)

(%)

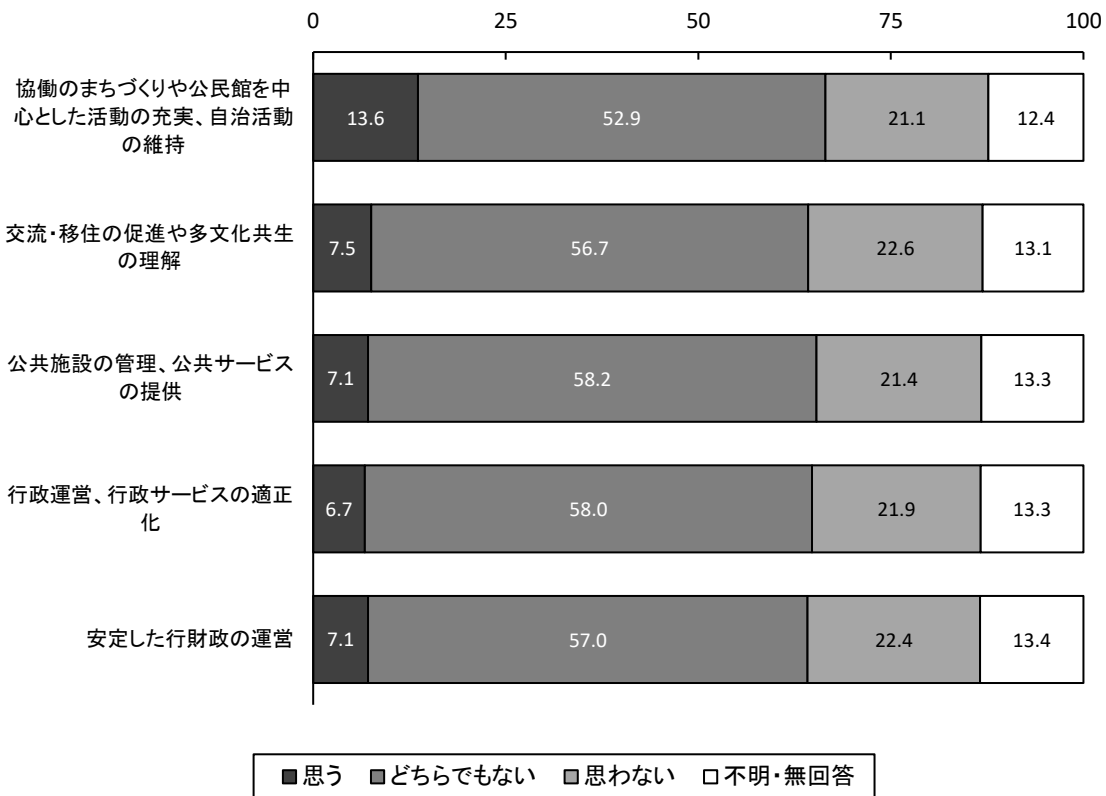


⑤ みんなではぐくむ地域づくりに関すること



【協働】 みんなではぐくむ地域づくりに関すること(n=1,206)

(%)



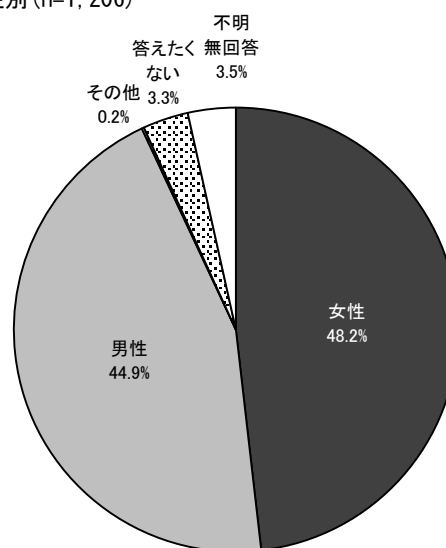
回答者について

●あなたの性別について

回答者の性別については、「女性」が 48.2%、「男性」が 44.9%となっています。

問9

性別 (n=1, 206)

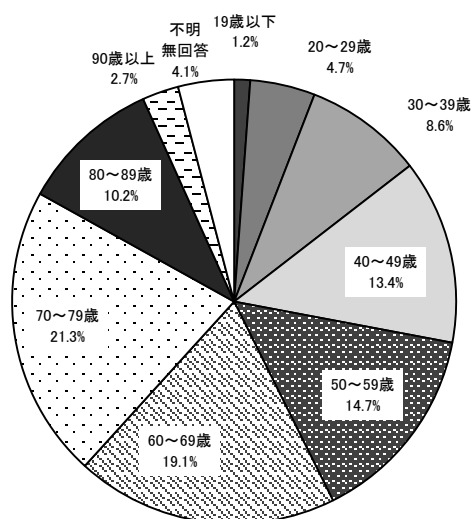


●あなたの年齢について

最も多かったのは「70～79 歳」で 21.3%、次いで「60～69 歳」で 19.1%、「50～59 歳」で 14.7%となっています。

問10

年齢 (n=1, 206)

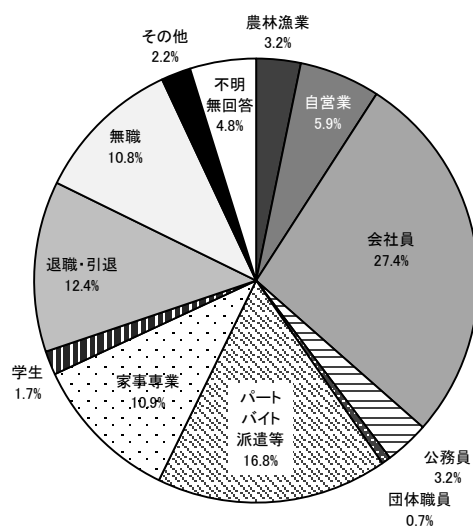


●あなたの職業について

最も多かったのは「会社員」で 27.4%、次いで「パート、アルバイト、派遣社員等」で 16.8%、「退職・引退」で 12.4%となっています。

問11

職業 (n=1, 206)

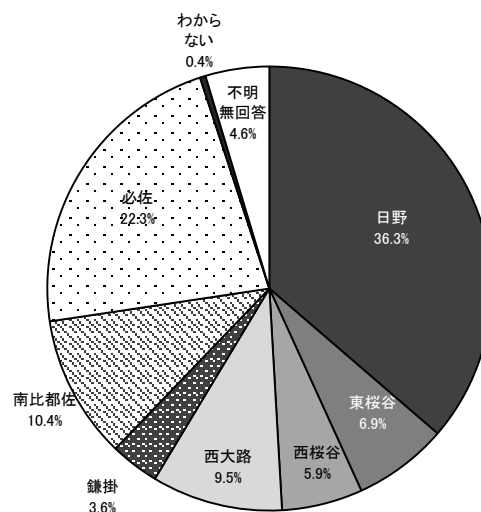


●お住まいの地区について

最も多かったのは「日野地区」で 36.3%、次いで「必佐地区」で 22.3%、「南比都佐地区」で 10.4%となっています。

問12

居住地区 (n=1, 206)

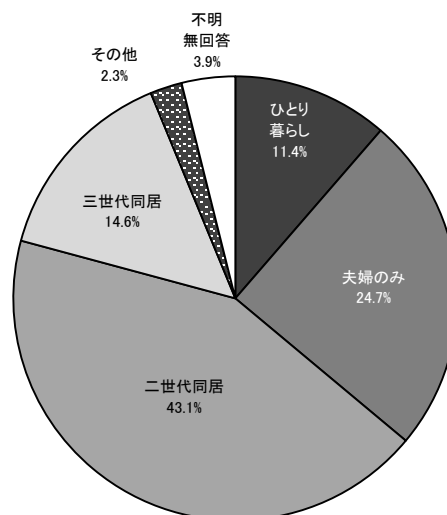


●お住まいの世帯構成について

最も多かったのは「二世帯同居」で 43.1%、次いで「夫婦のみ」で 24.7%、「三世帯同居」で 14.6%となっています。

問13

世帯構成 (n=1, 206)

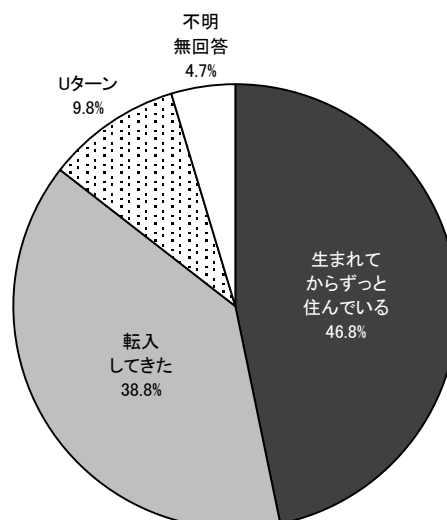


●あなたの居住歴について

「転入してきた」、「U ターン」の合計が 48.6%と「生まれてからずっと住んでいる」の 46.8%を上回っています。

問14

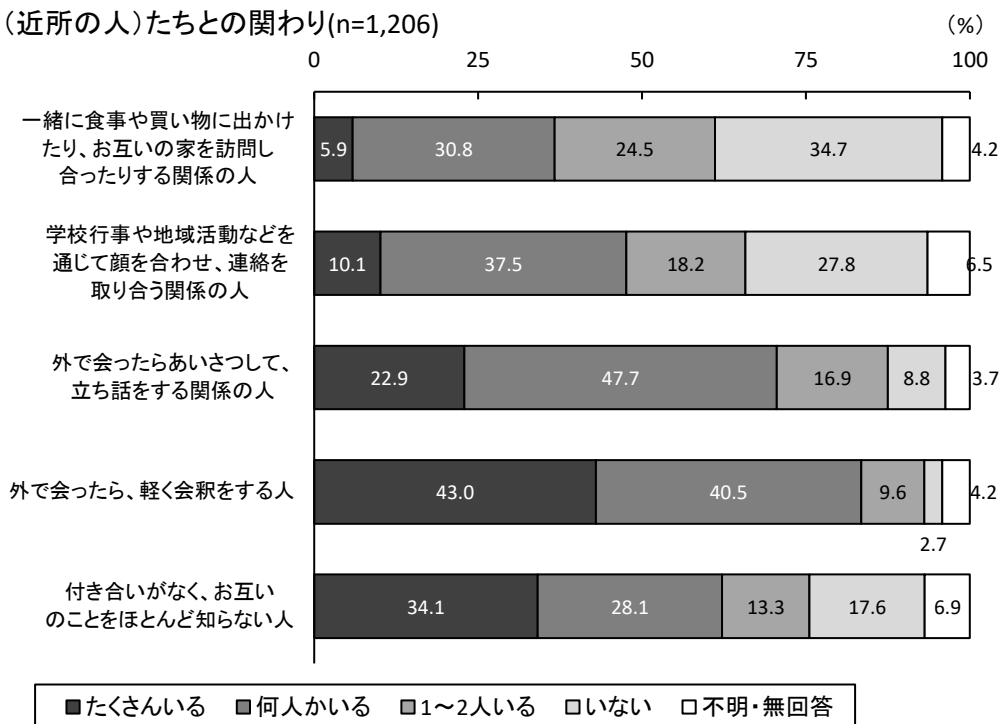
居住歴 (n=1, 206)



地域の人(近所の人)との関わりについて

約 6 割の回答者には、地域(近所)と一緒に食事や買い物に出かけたり、お互いの家を訪問し合ったりするような関係の人がいます。一方で、約 3 割は、付き合いがなく、お互いのことをほとんど知らない人がたくさんいると回答しています。

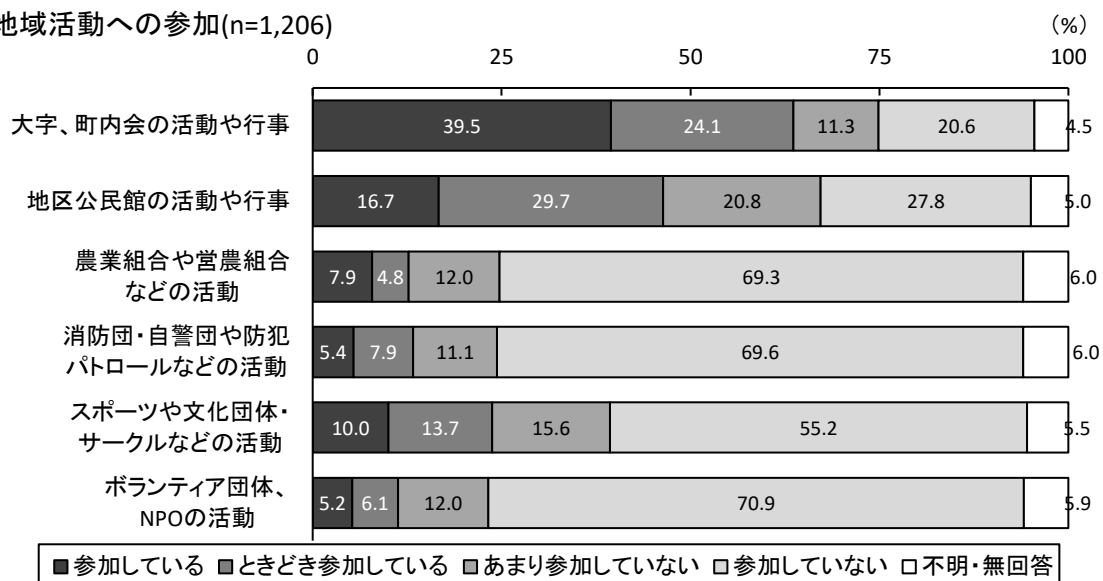
問15 地域の人(近所の人)たちとの関わり(n=1,206)



地域活動への参加について

大字、町内会の活動や行事、地区公民館の活動や行事等を通じての参加が中心となっています。

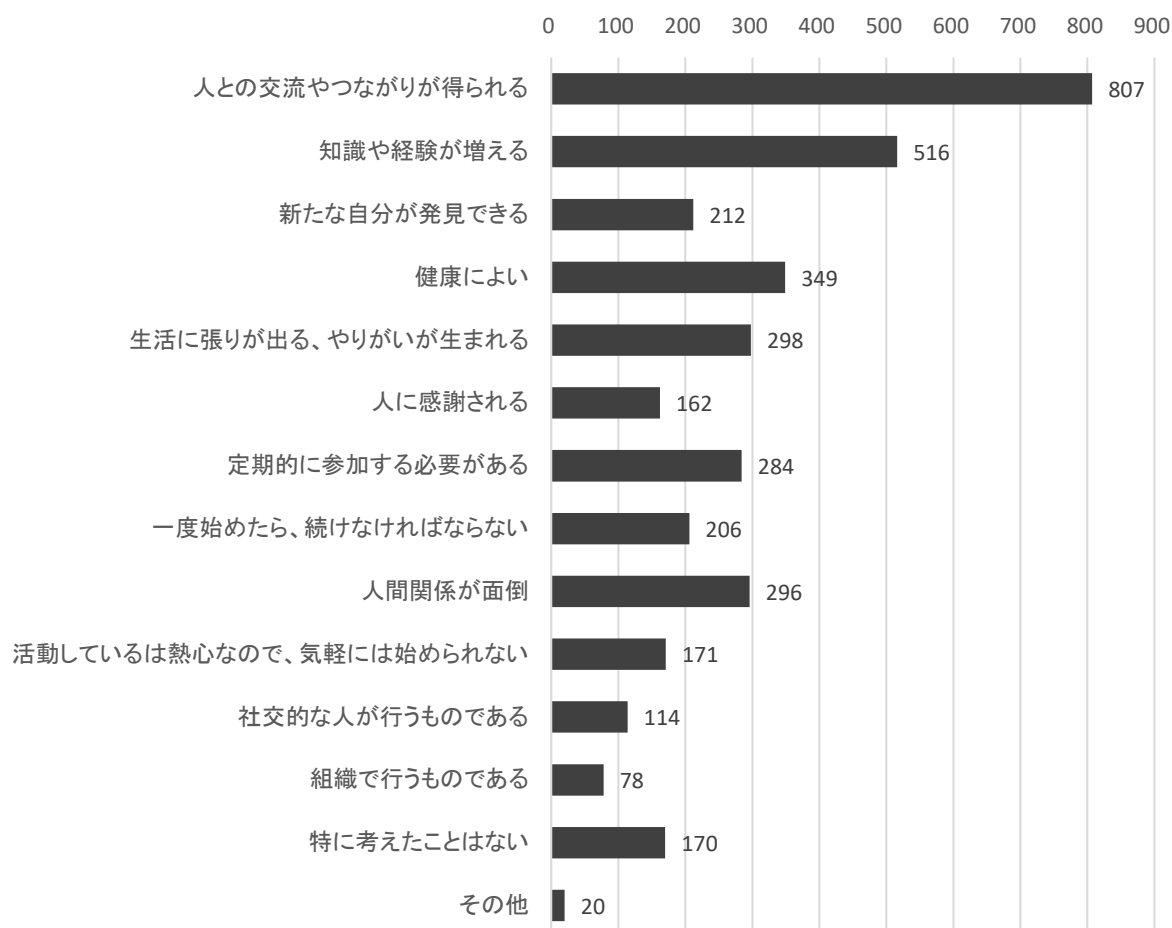
問16 地域活動への参加(n=1,206)



地域活動に抱くイメージについて

約 3 分の 2 の回答者が「人との交流やつながりが得られる」イメージを抱いており、次いで「知識や経験が増える」、「健康によい」といった前向きなイメージがある一方、約 4 分の 1 の回答者は「人間関係が面倒」なイメージがあると回答しています。

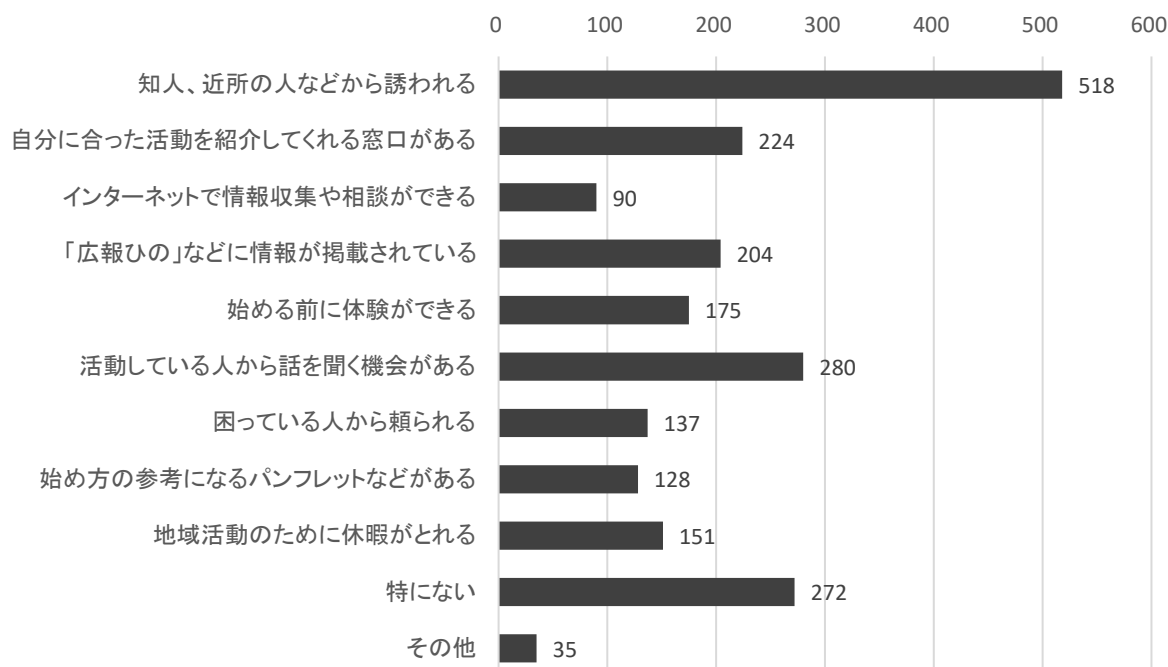
問17 地域活動に抱くイメージ(複数回答可) (n=1,206)



地域活動への参画の後押しについて

どのような後押しがあれば、地域活動をしように思えるかについて、「知人、近所の人などから誘われる」、「活動している人から話を聞く機会がある」といったことが挙げられています。

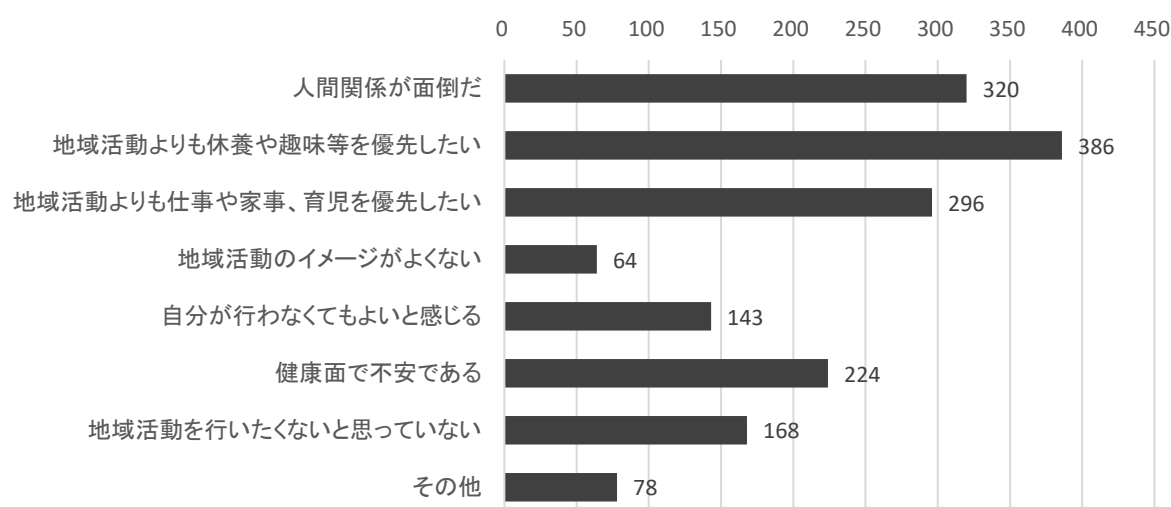
問18 地域活動への参画の後押し(複数回答可)(n=1,206)



地域活動を行いたくない理由について

地域活動を行いたくない理由として、「地域活動よりも休養や趣味等を優先したい」が最も多く、次いで「人間関係が面倒だ」、「地域活動よりも仕事や家事、育児を優先したい」が挙げられています。

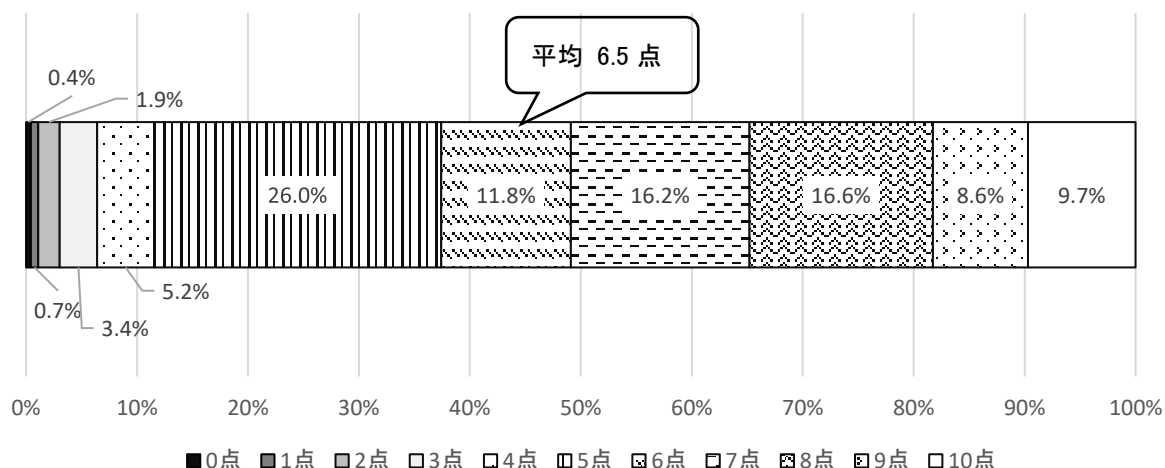
問19 地域活動を行いたくない理由(主なもの2つまで)(n=1,206)



幸福度(どの程度「幸せ」を感じているか)について

「幸せ」を10点、「不幸」を0点(普通を5点)とした幸福度について、回答者の4分の1以上が5点と評価し、6割以上が6点以上と評価しています。なお、平均は6.5点となっています。

問20 幸福度(どの程度「幸せ」だと感じているか) (n=1,182)



「幸せ」でいるために大切なことについて

「幸せ」でいるために大切だと思うことについて、「健康」が最も多く、次いで「家族関係」、「経済的なゆとり」が挙げられています。

問21 「幸せ」でいるために何が大切か(複数回答可) (n=1,206)

